令和7年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立山王小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ALT や教師の英語をよく聞かせたことで、聞く力が伸びた。
- ・アルファベットの音に注目しながら読むことで、読む力が伸びた。
- ・書く時間を多く設けることで、アルファベットを書く力が伸びた。
- ・英作文する時間を多く設けることで、正しく書き写したり、内容を考えながら作文したりする力が伸びた。

(2) 課題

- ・既習事項を活用して会話をする力を伸ばす必要がある。
- ・語彙力を増やす必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年			
第5学年			
第6学年	<p>○全ての観点において、目標値、前年度、区内、全国平均正答率を上回った。</p> <p>○区内平均正答率と比べ、全体が5.6pt、知識・技能が5.6pt、思考・判断・表現が5.7pt上回った。前年度はそれぞれ、5pt、4.5pt、5.6pt上回っていたため、今年度もどの観点においてもさらに数値の上昇があった。</p> <p>○聞くこと・読むこと・書くことのすべての領域で正答率が高く、バランスよく力が伸びていた。</p>		

(2) 分析 (観点別)

① 第5学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">○「聞く」「読む」ことは、基本的な表現について概ね理解している。○「話す」ことは、細かい発音に気を付けながら話すことに課題がある。○「書く」ことは、大文字は概ね書けているが、小文字を正しく書くことに課題がある。	<ul style="list-style-type: none">○単元末の発表では、相手意識をもち、工夫したり、内容を選んだりしながら発表することが概ねできていた。しかし、一つの話題についてより詳しく伝えるなど、内容を充実させて伝えることに課題がある。	<ul style="list-style-type: none">○授業では、学習した表現を活用し、すすんで自己紹介をし合う姿が多く見られた。

② 第6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">○「聞く」領域は、1問を除き全ての問題で目標値・全国正答率を上回った。下回った問題は“bicycle”と“unicycle”に関する問題であり、語彙力を増やすことに課題があった。○「読む」領域は、全ての問題で目標値・全国正答率を上回った。アルファベットを正しく読むことができた。単語も、色や花、動物について正しく読むことができた。○「書く」領域は、全ての問題で目標値・全国正答率を上回った。アルファベットの大文字・小文字を正しく書いたり、大文字と小文字を正しく書き変えたりすることができた。	<ul style="list-style-type: none">○「聞く」領域は、全ての問題で目標値・全国正答率を上回った。会話を聞いて内容を理解することができた。○「読む」領域に関する問題の出題はなかった。○「書く」領域は、全ての問題で目標値・全国正答率を上回った。自己紹介・他己紹介するための文を正しく作文することができた。	<ul style="list-style-type: none">○授業では、英語で書かれた文字をすすんで読む児童が多かった。また、単語をすすんで書こうとする児童も多かった。既習事項を活用してすすんで会話することには課題があった。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 第5学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○会話のやり取りをする時間をより多く設ける。会話のやり取りをさせる前には模範を示し、既習事項の活用についても考えさせる。</p> <p>○書く時間をより多く設ける。小文字の特徴を指導し、繰り返し書かせることで慣れさせる。</p>	<p>○会話する時間をより多く設け、一つの話題については1、2文で話し終わるのではなく、既習事項を使ってより詳しく伝えられるようにする。</p>	<p>○既習事項を使って会話する時間をより多く設け、表現を定着させる。会話の中ですすんで活用させ、会話を続けようとする態度を育てる。</p>

(2) 第6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○授業で扱う語彙を増やし、表現力を高める。覚えづらい単語は会話の中で繰り返し扱い、定着させる。</p> <p>○書く時間をこれからも多く設ける。小文字の特徴を指導し、繰り返し書かせることでさらに慣れさせる。</p>	<p>○新出表現だけでなく、既習表現を使った伝え方を考えさせることで、表現の幅を広げる。また、よい表現は共有し、活用できるようにする。</p>	<p>○これからも、英作文をする機会を多く設ける。その際は目的意識をもたせ、主体的に学習に取り組めるようにする。</p>